

令和4年度人権に関するポスターコンクール審査講評(最優秀賞)

(全体の部)

青い空に黄色いひまわりの花がよく映えており、見る人を明るく元気にしてくれる作品です。描かれているのは友達でしょうか。みんな笑顔で、楽しい会話まで聞こえてきそうです。また、ひまわりの大きさを工夫したり、遠くに列車を描いたりしたことで、奥行きや広がりを感じる作品になっています。作品を見ていると、友達と一緒にひまわり畑の中にいるような気持ちになります。

(小学校低学年の部)

中心に描かれているのが作者でしょうか。その楽しそうな笑顔を見ていると、思わず笑顔になります。作者の周りにはカブトムシやクワガタなどの昆虫がたくさん描かれ、友達と一緒に楽しい時間を過ごしたことが分かります。また、その昆虫たちは、細部まで詳しく描かれており、作者の昆虫に対する気持ちも伝わってきます。

(小学校中学年の部)

校舎から「おはよう」と手を振る友達に、笑顔で応える様子が描かれています。この何気ない日常から、「おはようってうれしいね」と感じることができる作者の感性がとても素晴らしいと思います。また、校舎やひまわりの配置を工夫し、奥行きのある構図にしたことで、校舎やひまわりも「おはよう」と言っているように感じます。

(小学校高学年の部)

ネズミがネコに優しく葉っぱの傘をさしてあげている様子が、見ている人の心を温かく笑顔にしてくれる作品です。ネズミやネコが擬人化されているので、自然に自分を重ねて見ることができます。また、絵や色がとても工夫されています。特に、雨や水玉の表現や陰影の色彩は素晴らしく、作品をより魅力的にしています。

(中学校の部)

大きな花束を抱え、目を閉じて静かに思いを巡らせている人物が描かれています。その花束には、それぞれの花に花言葉が書かれたタグが付いています。花束を抱えているのは作者自身でもあるのではないのでしょうか。一人ひとりの個性を認め、未来に向かって、明るく前進できる社会を思い描いているのでしょう。

(高等学校の部)

手と手が触れ合い、そこから温かな色へと変化していく。困っている人、助けが必要な人の心を、手とその色の変化で見事に表現しています。また、「勇気」と「助」の文字の色とそれぞれの手の色を同じにしてあり、シンプルなデザインの中にセンスが光ります。

(特別支援学校の部)

画面いっぱいに塗られた黄色、オレンジ、黄緑や緑色、どれも優しく温かな色です。その中に描かれた顔は、とても優しく温かな笑顔です。見ている人も思わず笑顔になる作品です。また、「えがおはこころのまほうだよ」という言葉は、本当に魔法にかけられたような気持ちにさせてくれます。

(一般の部)

真っ白い鳩が飛び立つ姿を笑顔で見つめる2人の姿がとても印象的な作品です。鳩は大きくダイナミックな構図で描かれていて、その精細で力強い描写から「希望」や「生きる力」を感じさせてくれます。また、背景に描かれたひまわりも、一つ一つの形や色を変えて緻密に描かれており、個性を尊重する作者の思いが伝わります。